

第56月回 俳句を楽しむ会

「かわせみ会」 会報

1 開催日 2023年 2月23日 13:00~(15:00) 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

2 参加人数 ・男性8名・女性2名 計10名

3 今回の季語 二月(如月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)

4 選句の結果 * 下線を表した句は、参加者本人の特選句!

・梅も見ず早駆急ぎ仲間逝く

・ポケットに喉あめひとつ余寒なほ

・寒暁の灯下に浮かぶ白い道

・腰掛けの昨夜の湿りや梅の園

・赤き実や小枝に集う寒すずめ

・小春日や畑に鋤打ち土香る

・鳴き交わす小枝に止る鳥の恋

・陽がこぼれきらめく波の冬の川

・早春の空ひろびろと鶯の笛

・妻思い故郷を思い冬雲

・福豆を年の数だけ食べきれず

・予定表混みて余寒も吹っ飛びし

・観月の光思わず手を合す

・凍て窓の内に滴る結露川

・目覚めても布団の心地俳句部屋

・雪道に想いおこせし若き日々



(城南宮のしだれ梅)



(東大寺二月堂 お水取り)

5 講評・添削 披講: 東さん

1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

・自分史の家系図編みる 二月尽 <ニガツジン/ニガワツジン>

*"初春"のj季語

・予定表混みて 余寒も吹っ飛びし <ヨカン>

*"初春"のj季語

・鳴き交わす小枝に止る 鳥の恋

*"春"のj季語

・腰掛けの 昨夜の湿りや梅の園 <ヨベノシメ>

*"夜露"の表現

・早春の 空ひろびろと 鶯の笛

*"鶯の笛"の表現でより広い空間を表現

2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

・ 梅花の香 ベランダを満たし春思

※1春の季語 ※2夏の季語

・ 福豆と 柁の加護 冬菫

※1 ※2 ※3
季語重なり

※1 福豆; 晩冬の子季語 (=豆撒き)

※2 柁; 初冬の季語

※3 冬菫; 冬の季語

*"夕焼"は夏の季語ですが、一年中の季語としてある。

例:「春の夕焼」、「秋の夕焼」、「冬の夕焼」

・ 凍て窓の内に 滴る 結露川

季語重なり

* 結露は季語ではないが、"露"は秋の季語です。

選外句

・盆梅のとぼしき縁日に当たる

・自分史の家系図編みる二月尽

・川べりの光さだかに猫柳

・寒椿見送る花や子供等を

・湯煙に春の一句浮かびけり

・春風に渦潮流れ明石橋

・梅花の香ベランダを満たし春思

・雨戸締め良く眠りたりし春の月

・コロナ過ぎ同期会開き春そこに

・福豆と柁の加護冬菫

・冬の旅妻とかたらうあたたかさ

・夜半の空春待ち月に見えしなり

・還りゆく人ふと思ふ野焼きかな

・球春や待って又待つ「アレ」の夢

6 次回(#57)開催日 2023年 3月 23日 13:00~(15:00) 第4木曜日

兼題: 三月(弥生)の季語全般

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

歳時記を参考に!

注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

